

風水害 (大雨や台風などによる災害)

一部内閣府広報誌から引用
一部国土交通省ホームページから引用
一部気象庁ホームページから引用

各地で大雨や台風による大きな被害が発生しています。突発的・局所的な大雨も増えているので、防災気象情報をこまめにチェックし、安全のために適切な行動を心掛けましょう。

雨の強さと降り方 (単位:mm/時)

10以上～ 20未満	20以上～ 30未満	30以上～ 50未満	50以上～ 80未満	80以上～
「やや強い雨」 ザーザーと降る。雨の音で話し声が良く聞き取れない。	「強い雨」 どしゃ降り。乗車時、ワイパーを速くしても見づらい。	「激しい雨」 バケツをひっくり返したような激しい雨。道路が川のようになる。	「非常に激しい雨」 滝のように降り、辺りが水しぶきで白くなる。傘は全く役に立たなくなる。	「猛烈な雨」 息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる雨。車の運転は危険。

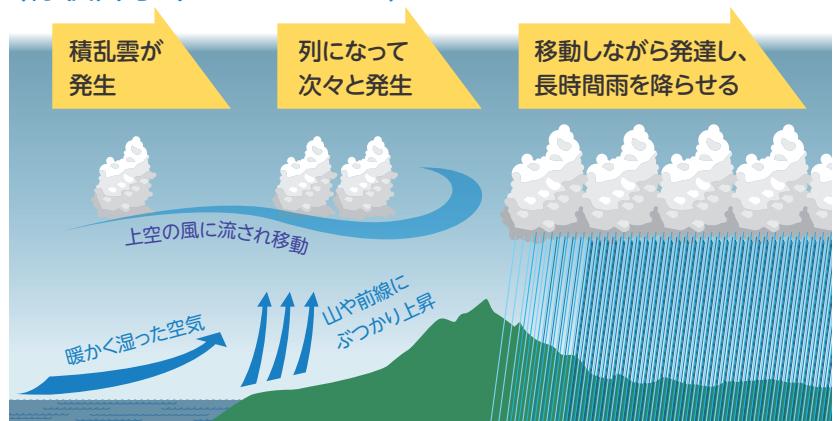
線状降水帯とは

次々と発生する発達した雨雲(積乱雲)が列をなし、同じ場所を通過または停滞することでできる、線状に伸びる強い降水域のことです。これにより、数多くの甚大な被害が生じています。

記録的短時間大雨情報とは

数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を観測(地上の雨量計による観測)したり、解析(解析雨量:気象レーダーと地上の雨量計を組み合わせた分析)したりするときに発表されます。

〈線状降水帯ができるまで〉



風の強さと吹き方 (単位:平均風速m/秒)

10以上～ 15未満	15以上～ 20未満	20以上～ 30未満	30以上
「やや強い風」 風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	「強い風」 風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出る。看板やトタン板がはずれはじめる。	「非常に強い風」 何かにつかまっていないと立ってられない。車を通常で運転することが困難になる。	「猛烈な風」 屋外での行動は極めて危険。多くの樹木が倒れる。電柱や街灯で倒れるものがある。ブロック壁で倒壊するものがある。

台風

毎年多数の台風が接近・上陸し、大きな被害をもたらしています。大雨や強風により停電や道路冠水を引き起こすことがあるため注意が必要です。台風の接近時は、防災気象情報に十分注意し、不要不急の外出は控えましょう。



竜巻

竜巻とは

積乱雲に伴う強い上昇気流により発生する激しい渦巻で、ろうと状または柱状の雲を伴います。

竜巻が迫ってきたら

すぐに身を守るための行動をとってください。頑丈な建物の中に避難し、窓から離れましょう。

竜巻注意情報(気象庁)

竜巻などの激しい突風に対して注意を呼び掛ける情報です。気象庁のホームページで確認できるほか、「茨城町公式LINE」などから情報を受け取ることができます。

過去の水害事例はこちら
(国土交通省・河川事業概要2018より)



土砂災害ハザードマップも確認しましょう。
町ホームページで確認できます。

